2019. 9

第148号

目 次

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

1 ポートエッセイ ―地方に「知の再武装」を

寺島実郎氏の新たな挑戦―

~ 日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭 ~

- 2 トピック
  - ●海上小口混載コンテナによる輸出実証実験を開始 ~道産食品輸出チャンネルOPEN~ (北海道開発局 港湾計画課)
  - ●道内初寄港!洋上の美術館「マースダム」が道内を巡る

(北海道開発局 港湾計画課)

●網走港修築100周年記念事業の実施

(網走市 建設港湾部 港湾課)

●国土交通Day親子見学会を開催しました!

(関東地方整備局 港湾空港部)

- ●「伏木港開港120周年記念 第4回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」開催!
  - (北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)
- ●「ぱしふいつくびいなす」が御前崎港に初寄港しました

(御前崎市役所 建設経済部)

●県内過去最大「ダイヤモンド・プリンセス」が和歌山下津港に初寄港

(近畿地方整備局 和歌山港湾事務所)

●第8回深日港フェスティバルが開催されました!

(近畿地方整備局 大阪港湾·空港整備事務所、和歌山港湾事務所)

●「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」登録証交付式を開催

(中国地方整備局 港湾空港部)

●第4回徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会 中期構想(案)等の最終取りまとめ (四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所) ●令和元年、福岡県苅田町で初開催 みんなで創る! かんだ海フェス

(九州地方整備局 苅田港湾事務所)

●那覇港にて「コスタ・ベネチア」の歓迎セレモニーが開催されました!

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

●本部港においてジャケット式岸壁の据付作業が行われました

(沖縄県 土木建築部 北部土木事務所)

- 3 お知らせ
  - ◇イベント名:~酒と肴と鼠ヶ関~ サワラまつり
  - ◇イベント名:鼠ヶ関港 とれたて! お魚市「紅えびまつり」
  - ◇イベント名:鼠ヶ関港 とれたて! お魚市「カニまつり」

1 ポートエッセイ ―地方に「知の再武装」を

寺島実郎氏の新たな挑戦―

~ 日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭 ~

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

〈人生100年時代の幕開け〉

日本では「人生100年時代」の幕が開いたという。今年の80歳人口が1千百万人を超え、100歳人口も7万人を超えた。これだけでも驚きの数字だが、日本の人口が1億人を切ると想定される2050年頃には80歳人口が1千6百万人となり、100歳以上は53万人になるという。日本総合研究所会長の寺島実郎氏は「驚くべき超高齢社会」を乗り切るには、「知の再武装を図りつつ超高齢社会の新しい社会システムの構築が必要」と呼びかけ、その社会システムを「ジェロントロジー」(高齢化社会工学)と名付けている。

その寺島氏がもう一つ、心配しているのが「地方での学び」だ。「いま、地方都市に行くと時代認識のギャップというか、間違った認識が広がっていると感ずる」と寺島氏は言う。確かに、ヘイトスピーチの横行や一部国会議員の過激な言動、さらに「炎上商法」とも言われる「嫌韓」「嫌中」の雑誌の売り込みなど、首をかしげたくなる状況が日本各地に広がっている。「これまで、例えばテレビの地上波やBSで時代認識を深める知の体系講座をやってきたが、いま地方は経済が疲弊している上に、本当の情報にアクセスできる機会が少ない。地方にこそ知の再武装が必要だ」と寺島氏は問題意識を語る。

〈6都市でライブ・ビューイング塾〉

地方での「知の再武装」は今年度明けから具体的に始まった。まず、新潟や山形など全国の6都市で、全11回の講座「『知の再武装』ライブ・ビューイング塾」を寺島氏は開始した。早朝の映画館を活用し、寺島氏の1時間強の講演と、各回にゲストを迎えた1時間弱の対談を大画面で放映する。ライブ・ビューイング塾の受講者たちは、そこでネットワークをつくり、新たな仲間づくりにもつながる。いわば「現代の松下村塾」づくりだ。

〈酒田港は12年で325%増〉

寺島氏に誘われて、6月に新潟市でのライブ・ビューイング塾に参加してみた。「21世紀日本の社会構造」がテーマだったが、具体的にはアジアのダイナミズムの中で日本の国内物流構造も劇的に変化していることが刺激的に語られた。その中でも注目されるものが日本海物流だ。寺島氏は「世界最大の

物流ルートは、上海から日本海を抜け津軽海峡を通って北米西海岸につながっている」と紹介し、2005年から2017年の外貿コンテナ取扱量の変化を数字で示した。最も伸びているのは山形・酒田港でなんと325%増。石川・金沢港や島根・浜田港なども倍増の勢いだ。残念なのは新潟港で伸び率は10%にも届いていない。この数字が寺島氏の口から語られた時、新潟会場にはどよめきの声が漏れた。

寺島氏は当然ご承知だが、新潟港や伏木富山港は20世紀末から21世紀初頭までに大きくコンテナ取扱量を伸ばし、2017年の実績では酒田港が4・1万TEUなのに対し、16・2万TEU(新潟港)、7・5万TEU(伏木富山港)の状況がある。しかし、2005年から17年までの数字は寺島氏の指摘通りだ。特に新潟港は3・11大震災が起きた2011年には太平洋側港湾の代替機能を果たし20万TEUの大台に達したのに、その後2016年までは低迷した。この理由や改善策などを新潟ではもっと議論する必要がある。その刺激を与えてくれただけでもライブ・ビューイング塾の活動は意味がある。

〈世界経済は、まさに波高し〉

日本海物流と一言で言っても、その中身は多様である。2018年のデータを見ると、花王の紙おむつを中国に輸出することで外貿コンテナを大きく伸ばしてきた酒田港がなぜか前年より約8千TEU落ち込み、新潟港は9千TEUほど伸ばす結果になった。「米中経済戦争」や「日韓対立」に象徴されるように、いま世界経済は不透明な要素で溢れ、日本の港湾もコンテナやクルーズ船獲得で今後激しい浮き沈みが出てくることが予測される。そんな中で地域の活性化のために日々奮戦しておられる港湾振興団体の皆さんと学び合えたことは私の大きな財産となった。

## ―これまでのご協力に深く感謝―

日本港湾協会の鬼頭理事長(当時)からお声掛けいただいた縁で、私が日本港湾振興団体連合会会長の任に就かせてもらってから 年が経った。来月、豊橋市で開かれる第53回の通常総会をもって会長を退任させていただく。これまで大変にお世話になり、また心からのご協力をいただいことに感謝して、退任のご挨拶とさせていただきます。長い間、ありがとうございました。

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

### 2 トピック

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

●海上小口混載コンテナによる輸出実証実験を開始 ~道産食品輸出チャンネルOPEN~ (北海道開発局 港湾計画課)

北海道開発局では、道産食品の輸出拡大に向け、輸送コストや海外での嗜好の調査を目的に、小口混載輸送による海外でのテスト販売などの実証実験を行ってきました。

昨年に引き続き本年度も、この取組の一環として、台湾へ道産食品の輸出実証実験を行います。

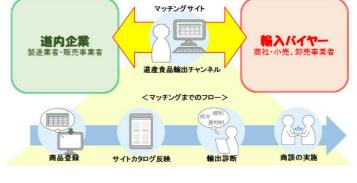
本実験では、一般社団法人北海道国際流通機構(以下、HIDO)の協力の下、海上コンテナにより台湾へ輸出した道産食品を現地のアンテナショップで商談・販売し、輸送コスト・通関手続き・購買者のニーズ等を把握します。また、実験に参加する企業の募集に当たり、「道産食品輸出チャンネル」\*\*を開設し、8月より試験運用しています。

実証実験を行うに当たり、8月29日、9月20日の2度にわたり説明会を開催しました。説明会では、 HIDOの鳥取代表理事を講師に招き、実験の概要や台湾における販売戦略について紹介しました。参加した道内企業からは、「台湾ではどのような商品に人気があるのか知りたい」、「この実験をきっかけに海外取引にチャレンジしてみたい」と積極的なご意見を頂きました。

#### ※道産食品輸出チャンネル:

道産食品の輸出拡大のために、道内企業の輸出ニーズを集約し、海外バイヤーとのマッチングを可能にするサイト。





説明会の様子

道産食品輸出チャンネルの機能イメージ

●道内初寄港!洋上の美術館「マースダム」が道内を巡る

(北海道開発局 港湾計画課)

米ホーランドアメリカラインが運航するクルーズ客船「マースダム」(55, 575総トン)が、釧路港、函館港、小樽港にそれぞれ初寄港しました。道内で初めての寄港になります。

同客船は、「洋上の美術館」と称され、船内には絵画やガラス工芸などの豪華な美術品が飾られています。

7月29日寄港の釧路港では、特産品の物販や甘酒、牛乳の振る舞いで釧路や日本の文化を楽しみ、 地元小学校の金管バンド同好会の演奏や市民によるお見送りソングの中、出港しました。

8月11日寄港の函館港では、船内で歓迎セレモニーが行われ、花束贈呈や記念品の交換が行われました。このほか、クルーズ船寄港時に通訳ボランティアとして活躍する地元の遺愛女子高校の生徒たちが中心となり、書道体験、たこ焼きの振る舞い、「江差追分」の横笛を披露して乗船客に大好評でした。

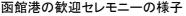
8月12日寄港の小樽港では、船内の歓迎セレモニーでミスおたるから花束の贈呈や記念品の交換が行われたほか、岸壁では特産品の販売やおたる潮太鼓の打演が行われ、潮太鼓はお見送り時にも披露されました。

同船は、このほかにも、8月25日に小樽港、26日に函館港へ寄港し、夏の北海道の港へ優雅な香りを運びました。



釧路港に初寄港したマースダム







小樽港のおたる潮太鼓の打演



函館港の遺愛女子校生徒が教える書道体験



小樽港の歓迎セレモニーの様子

## ●網走港修築100周年記念事業の実施

(網走市 建設港湾部 港湾課)

1919(大正8)年に網走港の修築工事が開始され、今年(2019年)が100年目の節目となることから、7月から8月にかけて、網走港の歴史を振り返る『みなとパネル展』と網走港を洋上から見学する『みなと見学会』を網走市と北海道開発局網走開発建設部で共同開催しました。

『みなとパネル展』では、大正、昭和、平成、そして令和へと時代の変遷とともに網走港が地域に果たしてきた役割などをパネルで紹介し、網走市のみならず近隣地域の物流拠点、クルーズ船寄港による地域振興といった大きな役割を果たしている網走港について、多くの方々にPRすることができました。

また、『みなと見学会』では、港が地域に果たしている役割など、港を身近に感じてもらうため、網走港内にある国内最大級の小麦集出荷施設を見学したほか、網走開発建設部所有船「はまなす」に乗船し網走港を見学しました。普段と異なり船から眺める網走港や街並みのほか、大型クルーズ船「飛鳥 II」が入港していたことから、間近で見る飛鳥 II の大きさに歓声が上がっていました。



オホーツク文化交流センターにて

小麦積込状況の見学

「はまなす」から眺める飛鳥Ⅱ

## ●国土交通Day親子見学会を開催しました!

(関東地方整備局 港湾空港部)

8月1日(木)、関東圏を所掌する3官署(関東地方整備局、関東運輸局、東京航空局)合同による「国土交通Day親子見学会」を開催しました。

「国土交通Day親子見学会」は、7月16日の「国土交通Day」にちなみ、例年8月1日に小学4年生から6年生のお子様とその保護者の方を対象とした見学会です。

今年の見学場所の1か所目は、羽田空港の「管制塔」です。

保安上の関係から、管制官の仕事を実際に見ていただくことはできませんでしたが、普段入ることのできない管制塔から多くの飛行機が離着陸する様子を見ることができ、参加された皆様から大変好評いただきました。



全体説明の様子

2か所目は、船上からの「東京港」見学です。

関東地方整備局所属の船舶「江戸」及び「たかしま II」に乗船し、羽田空港の桟橋から有明の客船ターミ ナルに向けて出航しました。

普段あまり目にする機会がないガントリークレーン を使用したコンテナ荷役の様子や、東京ゲートブリッ ジやレインボーブリッジの海からの眺めに、参加者さ れた方々はたくさん写真を撮られていました。



船上からの東京港見学の様子

最後の見学場所は有明にある「東京臨海広域防災公園」での「東京直下72h TOUR」体験です。

「東京直下72h TOUR」は、最大震度7の首都直下型地震の発生から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。

施設内には、地震発生直後の様子がリアルに再現されており、参加者はタブレットからのクイズにとても 真剣に取り組まれていました。



地震発生直後の様子がリアルに再現された施設内



記念撮影

## ●「伏木港開港120周年記念 第4回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」開催!

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

令和元年8月4日(日)、高岡市の国分浜海水浴場において「伏木港開港120周年第4回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」(伏木富山港湾事務所後援)が開催されました。富山湾が平成26年に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟して以降、賑わい創出事業や海岸清掃等の保全活動が盛んに行われており、本フェスティバルもその一環として開かれています。

今年も、親子連れなど県内外から大勢の人が参加しました。開会式では、来賓の髙橋正樹高岡市長が祝辞を述べ、地元国会議員から届いた祝電が披露されました。イベントは、クリーン作戦(海岸清掃)をはじめ、はだし運動会、ふれあいビーチ&サーフスポーツ大会(ビーチバレーボール大会、アルティメット大会、サッカー体験、ヨガ体験、SUP体験)などがありました。ビーチバレーボールやアルティメットの大会は、優勝を目指して熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。





アルティメット大会

ビーチョガ体験

●「ぱしふいつくびいなす」が御前崎港に初寄港しました。

(御前崎市役所 建設経済部)

8月20日(火)、ぱしふいっくびいなすの初寄港を記念して、御前崎ポートフェスタを開催しました。会場となった西ふ頭では、飲食ブースや物販ブース、ステージではキッズダンスや地元書道家による書道パフォーマンス、地元中学生らによる吹奏楽などのイベントにより盛り上がり、のべ9,000人の来場客が訪れました。



物販ブースの様子



書道パフォーマンス



お見送りの様子

## ●県内過去最大「ダイヤモンド・プリンセス」が和歌山下津港に初寄港

(近畿地方整備局 和歌山港湾事務所)

令和元年8月17日(土)に「ダイヤモンド・プリンセス」(総トン数115,875トン)が和歌山下津港の 西浜岸壁(和歌山県和歌山市)に初寄港しました。

熊野大花火大会(三重県熊野市)にあわせたクルーズ日程での寄港予定のところ、台風10号通過の影響で熊野の花火は26日に延期になり、同船の和歌山への寄港も荒天のため1日延期になるハプニングがありましたが、和歌山市が「お出迎え・お見送り」のおもてなしイベントを実施し、クルーズ船の乗客乗員約3,800人を歓迎しました。

この日、岸壁を一般開放し、地元の特産品のブース販売などが行われ、港はクルーズ船を近くで見ようと集まった大勢の市民や乗客らで賑わいました。

今回の初寄港は大型クルーズ船船型にあわせて、岸壁係船柱・防舷材の改良や、航路泊地の整備を行い実現したもので、来年10月18日には、さらに大型の「MSCベリッシマ」(総トン数171,598トン)の初寄港が決まっています。



1000トン型巡視船「きい」(左)と「ダイヤモンド・プリンセス」(右)





船内での歓迎セレモニー記念撮影

和歌山児童合唱団の歌声でお出迎え

# ●第8回深日港フェスティバルが開催されました!

(近畿地方整備局 大阪港湾:空港整備事務所、和歌山港湾事務所)

9月8日(日)に「みなとオアシスみさき」として登録されている大阪府岬町の深日港で第8回深日港フェスティバルが開催されました。

当日は晴天に恵まれ、会場ではうずしお観光船「日本丸」による大阪湾ミニクルーズや水上警察署警備艇の見学会、深日・洲本両港の地元物産品の展示・販売、消防フェアー・救急フェアー、大阪府警察音楽隊演奏等のステージイベント等、多数の催しが行われました。

2日前までは台風接近の可能性があったため、開催が危ぶまれていたにもかかわらず、約4,000 人もの来場者で賑わいました。

近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所と和歌山港湾事務所では、海や港のことを市民にもっと 知っていただくため、「海をきれいに」する海洋環境整備事業の紹介や「みなとのクイズ」、「みなとオア シス」のパネル展示を行うブースを出展しました。

深日港フェスティバルは、かつて深日港が兵庫県の淡路島などとの複数の海上定期航路が就航していた頃の賑わいを取り戻すことを期待し、大阪府の南部などと兵庫県の淡路島とを海上交通により最短ルートで結ぶことにより、サイクルツーリズムの確立を始めとした交流人口や移住・定住人口の増加を目指すもので、2012年から毎年開催されています。

2017年度に旅客船を活用した社会実験に続き、2018年度からは内閣府の地方創生推進交付金を活用して自転車搭載船を運航したことで、淡路島一周サイクリング通称「アワイチ」と、大阪府岬町周辺地域の「泉州サイクルルート」や「サイクリング王国わかやま」などの自転車ルートが直接結ばれ、サイクリストなどからも好評を得られているようです。2019年度は、春から秋の土・日・祝日限定で深日港ー洲本港航路の運航が「INFINITY」にて行われています。

大阪南部地域から淡路島への定期航路、海のバイパスの完全復活が期待されています。





【主催者あいさつ】田代 岬町長

竹内 洲本市長 を出迎える 田代 岬町長



イベント会場の様子



左 大阪湾ミニクルーズ「日本丸」 右 深日洲本ライナー「INFINITY」

## ●「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」登録証交付式を開催

(中国地方整備局 港湾空港部)

8月25日(日)、山口県下松市(くだまつし)の笠戸島(かさどじま)はなぐり海水浴場におきまして、地元が開催する下松笠戸島マリンイカダレース大会と併せ「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」の登録証交付式を開催しました。今回、オアシスとして登録されたのは、瀬戸内海の多島美や沈む夕日を眺めることができる国民宿舎大城(おおじょう)のほか、はなぐり海水浴場や海上遊歩道、同市の歴史文化を学べる郷土資料展示収蔵施設です。今回で全国131カ所目となる登録名称には同市の「星ふるまち伝説」にちなみ、☆の記号が入っており、記号入りの登録名は全国初となります。国井 益雄(くにい ますお)下松市長からは「豊かな自然を生かし、みなとオアシスのネットワークにより、本市の魅力を市外県外へと広くPRしたい」とのお言葉をいただきました。



登録証交付式



笠戸島マリンイカダレース大会

●第4回徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会 中期構想(案)等の最終取りまとめ (四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

四国の経済、産業にとって重要な港湾である徳島小松島港は、港湾背後地の高速道路の整備、新たな企業誘致が促進される一方で、港湾施設の老朽化・陳腐化等の課題も顕在化しており、近年港を取り巻く状況が大きく変化してきております。

そのため、当事務所では、徳島県、小松島市とともに、徳島小松島港の将来像について検討を行う「徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を平成30年に設置し、学識経験者、港湾関連団体、行政が一体となって検討を進めております。

令和元年9月2日に開催した第4回検討委員会では、バックキャスティングの思考法により、2040年頃を目標とした長期的なイメージを見据え、港湾の利用と施設等の両面から、2030年を目標に中期構想(案)と小松島港区活性化プラン(案)の検討を行い、最終取りまとめを行いました。

今後は、中期構想(案)並びに小松島港区活性化プラン(案)の実現に向けて、国、県、市が連携し、 取り組んでまいります。



第四回委員会の様子

●令和元年、福岡県苅田町で初開催 みんなで創る! かんだ海フェス

(九州地方整備局 苅田港湾事務所)

令和元年7月27日(土)、福岡県苅田町新浜町 苅田港緑地公園において「かんだ海フェス」が開催され、梅雨明けの猛暑の中、多くの人で賑わいました。

会場となった苅田港緑地公園は、災害時の荷さばき地としても利用可能な芝生公園です。会場では、 ダンスバトル、ステージイベントでのバンド演奏や地元アイドルグループのライブ、自転車パフォーマン ス、綱渡りスポーツ体験会、働く車による空中観覧、グルメ屋台やシーサイドマルシェなどの出店など盛りだくさんのイベントでした。

事務所としてもブースを設けてパネル展示等を行い、港湾整備事業のPRを行いました。





(左上)シーサイドマルシェ (右下)ダンスバトル

告知ポスター

事務所ブースの様子

## ●那覇港にて「コスタ・ベネチア」の歓迎セレモニーが開催されました!

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

8月15日(木)、コスタ・クルーズ社所属の新造船「コスタ・ベネチア(135,500GT)」が那覇港クルーズターミナルに寄港し、船内にて歓迎セレモニーが行われました。セレモニーでは花束の贈呈や記念品を交換し、寄港を歓迎しました。今年の3月に就航したばかりの同船は、上海を拠点にアジアクルーズを運航しており、那覇港の他、9月12日には中城湾港にも寄港しています。



コスタ・ベネチア

船内にて歓迎セレモニー

## ●本部港においてジャケット式岸壁の据付作業が行われました

(沖縄県 土木建築部 北部土木事務所)

国際クルーズ拠点形成港湾として整備が進められている本部港において、クルーズ岸壁の一部となるジャケット式岸壁の本体部分の据付作業が8月26日、27日に行われました。本作業では長さ50 m、重さ約600トンのジャケット2基を大型起重機船でつり上げ、あらかじめ海底に打ち込んだ杭に差し込む形で設置されました。

今後はジャケット上部への床板の設置や舗装工などが施される他、綱とりのドルフィンの整備など、 2021年4月の供用開始(予定)に向けて引き続き整備が進められます。



ジャケットの吊り上げの様子

ジャケットの取り付けの様子

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

3 お知らせ(みなとのイベント情報)

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

# ◇イベント名: 鼠ヶ関港 とれたて! お魚市「紅えびまつり」

【開催日時】:9月21日(土)午前10時~午後3時(なくなり次第終了)

【場 所】: 山形県漁協念珠関支所市場

【概 要】: エビ汁・エビ丼・エビ串焼き・エビ唐揚げ・エビ握り鮨・鼠ヶ関の「んめもの」

干物・水産加工品・イカ焼き・鮮魚販売

【問合せ先】: 鼠ヶ関自治会内「蓬莱塾」 ☎0235-44-2112

[U R L]: http://nezugaseki.net/



## ◇イベント名: ~酒と肴と鼠ヶ関~ サワラまつり

【開催日時】:9月29日(日)午前11時~午後3時

【場 所】:マリンパークねずがせき

さかな

【概 要】:サワラ料理販売、地酒の試飲、酒の肴と特産品販売、念珠関辨天太鼓演打

【問合せ先】:あつみ観光協会 ☎0235-43-3547

[U R L]: http://www.atsumi-spa.or.jp/



◇イベント名:鼠ヶ関港 とれたて! お魚市「カニまつり」

【開催日時】: 10月26日(土)午前10時~午後3時(なくなり次第終了)

【場 所】:山形県漁協念珠関支所市場

【概 要】:カニ汁・カニ丼・焼きガニ・茹でガニ・カニ握り鮨・鼠ヶ関の「んめもの」

干物・水産加工品・イカ焼き・鮮魚販売

【問合せ先】: 鼠ヶ関自治会内「蓬莱塾」 20235-44-2112

[U R L]: http://nezugaseki.net/





\*:\*:\*:本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先:\*:\*:\*:\*:\*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631

e-mail:bcf06323@nifty.com

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*: